

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育委員会生涯学習文化課	■担当係	社会教育係
■評価事業名称	子どもの読書活動推進事業		
■評価事業コード	400300 - 110	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	02 社会教育の充実	
	■施策	02 いきいきとした地域社会をつくる社会教育の推進	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	子どもの読書活動の推進に関する法律(H13.12施行)		
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画		
■事業の目的と概要	子どもがいつでもどこでも本に触れ合い、読書活動が盛んになる社会を構築し、情緒豊かな子どもを育む。「子どもの読書活動推進計画」の推進委員会の設置及び委員会開催		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	子どもの読書活動推進事業	市民		推進委員会 3回 第2次計画策定

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	91	34		97	
人件費	2,141	2,863		4,091	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,232	2,897		4,188	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	委員会開催回数	3回	0回	0回	3回	実施できなかった。
03	委員会延べ出席者数(委員18名)	43人	0人	0人		出席者×委員会開催回数
04	委員会一回あたりコスト	744,000円	0円	0円	1,396,000円	

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

第2次計画策定を策定し、今後の推進計画を示した。読書状況は小学生・中学生ともに順序である。

問題点・課題等

第1次計画が終了してから2次計画が策定されるまでの期間(23~24年度)も読書が各実施主体で可能な限りの推進がされていたので、今後は横のつながりのある継続した取り組みができる体制づくりを目指していく。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明